

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
谷口正実	アスピリン喘息.	医学書院	今日の診療サポート 第2版.	エルゼビア	東京	2013	Online
谷口正実	アスピリン喘息.	南山堂	南山堂医学大事典.	南山堂	東京	2013	印刷中
谷口正実	喘息反応.	南山堂	南山堂医学大事典.	南山堂	東京	2013	印刷中
谷口正実	免疫・アレルギー性肺疾患総論.	谷口正実 (監修), 医療情報 科学研究所 (編集)	チーム医療を担う医療人共通のテキスト病気がみえるVol.4 呼吸器 第2版	メディックメディア	東京	2013	152-153,
谷口正実	喘息(気管支喘息).	谷口正実 (監修), 医療情報 科学研究所 (編集)	チーム医療を担う医療人共通のテキスト病気がみえるVol.4 呼吸器 第2版	メディックメディア	東京	2013	154-163
谷口正実	アスピリン喘息(NSAIDs過敏喘息).	谷口正実 (監修), 医療情報 科学研究所 (編集)	チーム医療を担う医療人共通のテキスト病気がみえるVol.4 呼吸器 第2版	メディックメディア	東京	2013	164
谷口正実	好酸球性肺炎.	谷口正実 (監修), 医療情報 科学研究所 (編集)	チーム医療を担う医療人共通のテキスト病気がみえるVol.4 呼吸器 第2版	メディックメディア	東京	2013	165-167
岡野光博	舌下免疫療法の適応と禁忌.	日本鼻科学会	舌下免疫療法の実際と対応	日本鼻科学会	京都	2013	21-29
岡野光博	風邪症候群のハイリスクグループ.	川内秀之	風邪症候群と関連疾患-そのすべてを知ろう	中山書店	東京	2013	273-276
岡野光博	CQ2-4. 職業性アレルギー性鼻炎の原因抗原は?	日本職業・環境アレルギー学会ガイドライン専門部会	職業性アレルギー疾患診療ガイドライン 2013	協和企画	東京	2013	49

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ
岡野光博	CQ2-5. 職業性アレルギー性鼻炎の原因抗原と認定する基準は？	日本職業・環境アレルギー学会ガイドライン専門部会	職業性アレルギー疾患診療ガイドライン 2013	協和企画	東京	2013	50
岡野光博	CQ2-6. 職業性アレルギー性鼻炎の原因抗原は変化しているのか？	日本職業・環境アレルギー学会ガイドライン専門部会	職業性アレルギー疾患診療ガイドライン 2013	協和企画	東京	2013	51
岡野光博	CQ2-7. 化学物質による職業性アレルギー性鼻炎の問題点は？	日本職業・環境アレルギー学会ガイドライン専門部会	職業性アレルギー疾患診療ガイドライン 2013	協和企画	東京	2013	52
岡野光博	CQ2-18. 就業前に従業員のアトピー素因の有無を検査することは有効か？	日本職業・環境アレルギー学会ガイドライン専門部会	職業性アレルギー疾患診療ガイドライン 2013	協和企画	東京	2013	60-61

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Sekiya K, Taniguchi M, Fukutomi Y, Watai K, Minami T, Hayashi H, Ito J, Tanimoto H, Oshikata C, Tsurikisawa N, Tsuburai T, Hasegawa M, Akiyama K.	Age-specific characteristics of inpatients with severe asthma exacerbation.	Allergol Int.	62(3)	331-6	2013
谷口正実, 福富友馬, 粒来崇博, 関谷潔史, 谷本英則, 三井千尋, 森 晶夫, 秋山一男	特集Ⅱ 重症喘息の背景因子と治療戦略 重症喘息の背景因子.	臨床免疫・アレルギー科	59(3)	338-345	2013
谷口正実, 三井千尋, 東憲孝, 小野恵美子, 石井豊太, 梶原景一, 三田晴久, 秋山一男	特集 気管支喘息の研究 アップデート VI. アスピリン喘息の病態, 機序—最近の知見から.	アレルギー・免疫	Vol.20, No.7	56-66	2013
谷口正実, 石井豊太	特集 unified airwayからみた鼻副鼻腔病変, 気道疾患と鼻副鼻腔病変 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症と鼻副鼻腔病変.	JOHNS	Vol. 29 No.5	867-870	2013

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
谷口正実, 三井千尋, 林 浩昭, 伊藤 潤, 南 崇史, 渡井健太郎, 東 憲孝, 小野恵美子, 福富友馬, 谷本英則, 関谷潔史, 粒来崇博, 秋山一男	講座 ピットフォール アスピリン 喘息 (NSAIDs 過敏喘息) .	呼吸	32(9)	848-855	2013
谷口正実, 関谷潔史	ひとくちメモ 特集 長引く咳の 診断と治療 薬剤による咳.	日医雑誌	142(6)	1270	2013
谷口正実	特集=アレルギーをめぐる課題 気管支喘息～抗IgE抗体療法のポ イント.	MEDICAMENT NEWS	第2137号	1-5	2013
福富友馬, 谷口正実	【難治性気管支喘息の最前線】 難治性喘息の概念・定義・疫学.	呼吸器内科	23(2)	123-129	2013
東 憲孝, 福富友馬, 山口裕礼, 三田晴久, 谷口正実	【成人気管支喘息の難治化要因と その対策】 NSAIDs過敏喘息は、 なぜ重症・難治性喘息なのか？	アレルギー・ 免疫	20(4)	538-545	2013
谷口正実	【気管支喘息:診断と治療の進歩】 喘息の亜型・特殊型・併存症 アスピリン喘息 (NSAIDs 過敏喘息).	日本内科学会 雑誌	102(6)	1426-1432	2013
福富友馬, 谷口正実, 秋山一男	喘息発症・難治化リスクとしての 肥満.	IgE practice in Asthma	7(1) 通巻16	21-24	2013
谷口正実, 東 憲孝, 三井千尋, 小野恵美子, 林 浩昭, 福富友馬, 伊藤 潤, 谷本英則, 関谷潔史, 粒来崇博, 石井豊太, 梶原景一, 森 晶夫, 三田晴久, 秋山一男	アスピリン喘息の病態の最新知見 と診断・治療の実際を探る.	Respiratory Medical Research	vol.1 no.1	29-36	2013

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Yao C, Hirata T, Soontrapa K, Ma X, Takemori H, Narumiya S.	Prostaglandin E ₂ promotes Th1 differentiation via synergistic amplification of IL-12 signalling by cAMP and PI3-kinase.	Nat Commun.	4	1685	2013
Saito A, Suzuki HI, Horie M, Ohshima M, Morishita Y, Abiko Y, Nagase T	An integrated expression profiling reveals target genes of TGF- β and TNF- α possibly mediated by microRNAs in lung cancer cells.	PLoS One	8	e56587	2013
Noguchi S, Hijikata M, Hamano E, Matsushita I, Ito H, Ohashi J, Nagase T, Keicho N.	MxA transcripts with distinct first exons and modulation of gene expression levels by single-nucleotide polymorphisms in human bronchial epithelial cells.	Immunogenetics	65	107-114	2013
Noguchi S, Hamano E, Matsushita I, Hijikata M, Ito H, Nagase T, Keicho N.	Differential effects of a common splice site polymorphism on the generation of OAS1 variants in human bronchial epithelial cells.	Hum Immunol	74	395-401	2013
Narumoto O, Niikura Y, Ishii S, Moriyama H, Okashiro S, Nakahari T, Nakano T, Matsumura H, Shimamoto C, Moriwaki Y, Misawa H, Yamashita N, Nagase T, Kawashima K, Yamashita N.	Effect of secreted lymphocyte antigen-6/urokinase-type plasminogen activator receptor-related peptide-1 (SLURP-1) on airway epithelial cells.	Biochem Biophys Res Commun	438	175-179	2013
春名眞一	慢性副鼻腔炎再手術症例に対する検討.	耳鼻咽喉科臨床	105	899-909,	2012
春名眞一	好酸球性副鼻腔炎の概説.	臨床免疫・アレルギー科	55	422-428	2011
池澤優子, 相原道子	アスピリン不耐症.	皮膚科の臨床	55 (12)	1686-1689	2013

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Hashimoto K, Kariya S, Onoda T, Ooue T, Yamashita Y, Kaka Y, Okano M, Nishizaki K.	Rosai-dorfman disease with extranodal involvement.	Laryngoscope		doi: 10.1002/ lary.24290	2013
Imoto Y, Tokunaga T, Matsumoto Y, Hamada Y, Ono M, Yamada T, Ito Y, Arinami T, Okano M, Noguchi E, Fujieda S.	Cystatin SN upregulation in patients with seasonal allergic rhinitis.	PLoS One	8	e67057	2013
Higaki T, Okano M, Kariya S, Fujiwara T, Haruna T, Hirai H, Murai A, Gotoh M, Okubo K, Yonekura S, Okamoto Y, Nishizaki K.	Determining minimal clinically important differences in Japanese cedar/cypress pollinosis.	Allergolgy International	62	181-189	2013
Gotoh M, Yuta A, Okano M, Ohta N, Matsubara A, Okubo K.	Severity assessment of Japanese cedar pollinosis using the practical guideline for the management of allergic rhinitis in Japan and the allergic rhinitis and its impact of asthma guideline.	Allergolgy International	62	181-189	2013
Hirai H, Kariya S, Okano M, Fukushima K, Kataoka Y, Maeda Y, Nishizaki K.	Expression of toll-like receptors in chronic otitis media and cholesteatoma.	International Journal of Pediatric Otorhinolaryn- gology	77	674-676	2013
Kariya S, Okano M, Higaki T, Makihara S, Haruna T, Eguchi M, Nishizaki K.	Neutralizing antibody against granulocyte/macrophage colony-stimulating factor inhibits inflammatory response in experimental otitis media.	Laryngoscope	123	1514-1518	2013
Okano M, Fujiwara T, Makihara S, Fujiwara R, Higaki T, Kariya S, Noda Y, Haruna T, Nishizaki K.	Characterization of IL-18 expression and release in the pathogenesis of chronic rhinosinusitis.	International Archives of Allergy and Immunology	160	275-286	2013

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
小山貴久、岡野光博、春名威範、野山和廉、假谷 伸、檜垣貴哉、牧原靖一郎、西崎和則。	鼻噴霧用ステロイド薬を用いた初期治療の有効性。	臨床免疫・アレルギー科	60	664-667	2013
岡野光博	花粉症の薬物療法の最新エビデンス。	医学のあゆみ	247	1231-1238	2013
岡野光博。	一歩進んだ鼻アレルギー治療：鼻噴霧用ステロイド薬。	アレルギーの臨床	33	1107-1111	2013
岡野光博。	検査結果をどう読むか？鼻汁中好酸球検査。	JOHNS	29	889-893	2013
岡野光博、野山和廉。	IL-31 とアレルギー。	臨床免疫・アレルギー科	60	12-19	2013
岡野光博。	気道疾患に対する治療戦略：ステロイド薬の使い方。	JOHNS	29	889-893	2013
岡野光博、假谷 伸。	成人気管支喘息の難治化要因とその対策、鼻炎や副鼻腔炎の合併。	アレルギー・免疫	20	514-523	2013
岡野光博。	Q7:アレルギー性鼻炎の治療法は成人と同じでよいですか？	ENTONI	152	75-82	2013
岡野光博。	免疫担当細胞とその分化。	JOHNS	29	297-301	2013
岡野光博。	鼻噴霧用ステロイド薬の初期治療としての可能性。	医薬ジャーナル	49	75-82	2013
岡野光博。	鼻噴霧用ステロイド薬の新たな位置付け。	アレルギーの臨床	33	37-41	2013
岡野光博。	好酸球性副鼻腔炎の病態と治療。	日本医師会雑誌	141	2191-2194	2013
Isogai Sumito	Upregulation of CD11b on Eosinophils in Aspirin Induced Asthma.	Allergology International	62(3)	367-73	2013

平成 25 年度 厚生労働科学研究費補助金

(難治性疾患等克服研究事業(免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業 免疫アレルギー研究分野))

「NSAIDs 過敏気道疾患の病因、発症機序解明とガイドライン作成に関する研究」

研 究 報 告 書

2014 年 3 月 28 日発行

発行者 独立行政法人国立病院機構相模原病院 谷口正実

〒252-0392 神奈川県相模原市南区桜台 18-1

